

## ■ 「タカテツのひとり語り」

### — 「ひまわり」と「ウクライナ」 —

「ひまわり」は1970年のイタリア、フランス、旧ソ連、アメリカの合作映画です。第二次世界大戦で引き裂かれた恋人達の悲しい物語で、女優「ソフィア・ローレン」「マルチェロ・マストロヤンニ」主演でした。(右「写真」)。恋人と別れて、出征した兵士がロシア戦線で意識不明になり、ウクライナの娘に助けられ、子供も生まれます。死んだと諦めきれないソフィアはウクライナに探しに行き、その現実を目の当たりにし、失意のまま戻るというもので、そのウクライナの地に一面に咲き誇る「ひまわり」が映し出されます。

### ウクライナに栄光あれ！



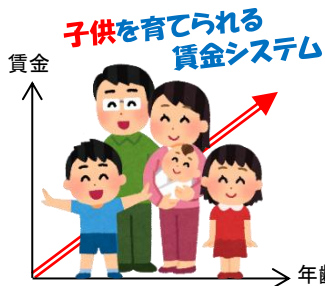
この度、プーチンの兵士に、一人のウクライナの「おばさん」が「ひまわり」の種を渡そうとしているテレビ映像が流れ、切なく思いました。この兵士もさすがに暴行は働きませんでした。ウクライナがNATOに加盟する云々は、独裁者プーチンの口実の一つに過ぎないでしょう。独裁者にとって「**民主主義・自由**」というのは常に独裁権力を崩壊させる「**不都合な真実**」だからです。なぜ「**情報統制**」をしなければならないかがその裏付けです。歴史上、独裁者は何れ民衆に殺されることが多いことが彼らの最大の恐怖であり、国民の「**無知化**」こそ最も都合の良い手立てだからです。

私は、日本も「**返り血**」を浴びてでもロシアを**国家経済破綻**に追い込むことだと思いつけています。そして、これが中国への警告にもなり得ると…なぜなら「独裁者」に話して分かることはありません。力を頼むものは「**力の論理**」しか通じないからです。かつての日本もそうでした(涙)。

日本も当然軍備は必要です。あの永世中立国スイスは「**国民皆兵**」(徴兵制)で4,000人の職業軍人と、21万人の予備役がいます。もう一つ、世界は「**専制主義国**」が多数派であることを直視するべきです。国連加盟国中27ヶ国しか民主主義国家は無いという現実です。ですから、国連の141ヶ国というロシア非難決議は稀有と言えますし、それ程の蛮行だと言うことです。

あの一面の「ひまわり」のウクライナに戻るまで、応援し続けたいものです。ウクライナに栄光あれ！

## ■ 「ROKENワークス・アカデミー」ショート・ショート(21) 賃金編 — 新「年功賃金」試考 —



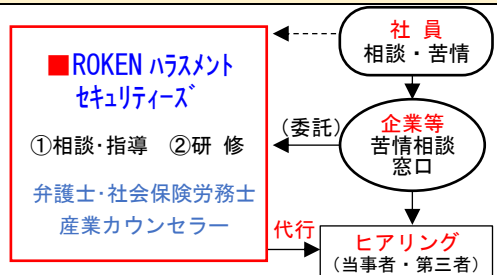
前回、「年功賃金」は第二次世界大戦後の「**労働力人口構造**」によって作り出されたシステムであり、「**素人**」の育成(投資)と「**長期回収**」がそのメカニズムであると述べました。

となれば、「問題はこれからの「**労働力構造**」です。2030年頃から人口減に伴い企業数が減少し、特に**山形県は50%超の減少**で「**ワーストワン**」になるとの予測です。この時期は**企業数の減少**により、**失業率は高くなります**が、これも一時的で、2040~2060年に向けて**労働力は再度減少傾向**になります。となると、欧米のように**移民労働力**に頼るのか、再度**学卒者の戦力化**を図るかです。移民労働力導入は安直ですが、後々**大きな問題**(年金、文化、宗教、etc)が待っています。私は**反対論者**です。また、欧米では「**ジョブ型**」採用のため、仕事のできない**若年者の失業率**が極めて高いのです。このことは**次世代の労働力の再生産**もできません。結婚できない、子供も教育もムリだからです。それ故、「**素人**」から育成して戦力化するシステムが必要だと考えています(国家的問題です)。

勿論、「**学歴**」と「**年齢**」だけでの**一律年功処遇**はあり得ません。「**大学卒**」と言える大学は如何程でしょう(失礼)。「**中途入社**」で「**年齢**」と言われても困ります。特に**中小企業**では、必要な時に必要な人材や数を採れる訳ではなく、「**長期育成システム**」と新たな「**賃金システム**」、これが**新「年功賃金**」なのです。

## ■ ROKEN提供システムズ — 戦略的アウトソーシング&ヒューマンエンジニアリング —

- ROKEN アウトソース・センター
  - ・ 電子申請システム(義務化近し)
  - ・ 給与計算(明細書電子配信)
  - ・ 出退勤指紋(カード)認証システム
- ROKEN ヒューマン・フォース
  - ・ 適性検査、コンピテンシー面接・評価
- ROKENワークス・アカデミー
  - ・ 人間基礎力、ヒューマンスキル、テクニカルスキル



■ 協同組合 労研センター  
TEL: 23-7233 FAX: 23-7236  
E-Mail: [center@roken.jp](mailto:center@roken.jp)

お気軽にお問い合わせ下さい。

■ 株式会社 労研  
TEL: 24-8060 FAX: 24-8069  
E-Mail: [academy@roken.jp](mailto:academy@roken.jp)

roken 検索